

## 会員会社紹介

## 一般社団法人 YRP 研究開発推進協会

鳥越 祐之



## 横須賀リサーチパークについて

横須賀リサーチパーク（略称：YRP）は、都心からのアクセスも良好な横須賀市南部の郊外に、1997年10月に開設されました。三方を丘に囲まれ、もう一方は東京湾に開けた立地となっていることから、特に無線通信の研究開発に適した地として、電波・情報通信技術を中心としたICT技術の公的研究機関や、国内外の先進企業の研究所及び大学の研究室が多数集積し、国内でも最大級のICT技術の研究開発拠点として発展しています。また現在は、新たな分野・業種の研究所の誘致も進み、異業種連携・共創の地としての期待が高まっています。

## YRP協会について

YRP研究開発推進協会は、1987年の前身の設立以来、非営利の任意団体として、情報通信技術の発展への貢献を目指し、YRPにおける研究開発に関する諸事業を推進してまいりましたが、その活動内容をさらに充実、発展させ多方面への展開を図るため、2020年12月に一般社団法人に移行いたしました。

当協会では、関係機関との連携・調整を図り、YRPにおけるBeyond 5G等の次世代移動通信技術の実証実験環境の整備や、ブロードバンドワイヤレスフォーラム（BWF）、ワイヤレススマートユーティリティーネットワーク利用促進協議会（WSN協議会）等のフォーラム活動等を通じて生み出される新たな技術の普及・利用促進に貢献して参りました。さらに、2022年に策定された「YRPビジョン2025」の達成に向けて、YRPを中心とした地域の情報通信の発展のため、関連活動を積極的に推進しています。

## 5G/Beyond 5G、O-RAN

5G/Beyond 5G、O-RANでは、国が実施した

調査等の知見を活用し、4通信事業者と共同で、O-RAN仕様に基づく試験・認証を行う拠点Japan OTIC（Open Testing and Integration Centre）を昨年12月、YRPに設立しました。設立に際して、政府関係者、報道関係者等の参加による開所式・内覧会を開催しました。また、2023年度からの本格的な活動に備えて、設備の整備、試行的な運用、手続き等内部規定の整備を行いました。また、O-RAN ALLIANCEで試験・統合の仕様、OTICのガイドライン等について審議を行う試験・統合フォーカスグループ（TIFG）の活動に貢献しています。Japan OTICは、無線アクセスネットワークのオープン化、仮想化、インテリジェント化の促進を通じて、5Gの高度化、Beyond 5Gの実現に貢献し、日本の情報通信分野の活性化、多様化、海外展開に資するものです。

## ブロードバンドワイヤレスフォーラム

新たな無線通信技術を用いたシステムやサービスの早期実用化及び国際展開を図ることを目的に設立されたブロードバンドワイヤレスフォーラム（BWF）では、長距離伝送に優れた次世代方式である空間伝送型ワイヤレス電力伝送システム（WPT）の実用化や、近接結合型ワイヤレス電力伝送システムの利用領域拡大に向けた法令上の利用環境・条件の整備、標準化・制度化に向けた活動に注力しており、これらの活動を受けて2022年5月に「電波法施行規則等の一部を改正する省令案」が公布・施行されています。これを受け、空間伝送型について、更なるステップである有人環境及び屋外での運用の制度化を見据え、既存電波利用者との共用化に向けた検討を行っています。2022年度には、WPTが同一周波数帯の無線局等に与える影響の試験測定評価のため、YRPセンター1番館において実証実験を行いました。また、11月には、CJK

WPT-WG 会合（日中韓の情報通信標準化団体による会合の WPT に関する WG）を開催し、日中韓の各国における WPT 制度化、標準化の状況及び国際会議、標準化団体での活動状況について情報交換を行いました。さらに、ITU-R SG1 WP1A、APT Wireless Group (AWG) の WPT に関する活動に貢献しています。

### ワイヤレスセンサーネットワーク

YRP において NICT が開発したワイヤレスセンサーネットワーク (WSN) の一つである Wi-SUN を始めとした IoT 技術の利用の促進を目的に設立されたワイヤレススマートユーティリティネットワーク利用促進協議会 (WSN 協議会) では、LPWA (Low Power Wide Area) の各方式を整備した LPWA テストベッドを活用した様々な IoT アプリケーションの実証実験を進めています。具体的には、広域工場内における静止画モニタリングを想定した Wi-SUN による静止画伝送の技術検証実験や、小型ドローンと

LPWA を用いて災害時、海上／山岳遭難者の位置情報通信することを想定した技術実証実験を推進しています。また、バッテリーレスセンシングについて、社会実装に向けた実証実験を YRP で行う予定です。

### ICT を活用した地域課題の解決、周知、国際交流等

その他、ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジの推進、YRP 地区におけるローカル 5G を活用した自動運転カートに関する応用アプリケーションの検証業務、ワイヤレス・テクノロジー・パーク (WTP) への出展、YRP 発の国際学術会議である無線パーソナルマルチメディア通信国際シンポジウム (WPMC) の開催、NICT 及び台湾工業技術研究院等との 5G/Beyond 5G に関するワークショップの開催といった取り組みを行っています。

当協会では、今後より一層、会員の皆様の研究開発活動の推進に貢献すべく、関係機関との更なる連携・調整を図り、その活動等を通じて生み出される新たな技術の普及・利用促進に貢献して参ります。



横須賀リサーチパーク周辺



YRP センター 1 番館

写真提供：(株) 横須賀テレコムリサーチパーク